

1. 基本事項

事務事業名	要保護及び準要保護児童・生徒就学援助費及び特別支援教育就学奨励費交付事業			事務事業コード	212-105-62
総合計画	基本目標	2	みんな健康で、笑顔あふれるまち	担当課	学校教育課
	政策名	1	子育て環境を充実し、子どもの健やかな成長を支援する	担当者	鈴木 立
	施策名	2	家庭における子育てへの支援	内線	448
事業区分	<input type="radio"/> 独自事業 <input checked="" type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input type="radio"/> 評価事業 <input checked="" type="radio"/> 説明事業
法令根拠	学校教育法 第19条				
条例・要綱等	新庄市就学援助実施要綱				
予算・事務事業名	一般会計	10款2項2目/10款3項2目	小学校教育振興事業費/中学校教育振興事業費	予算コード	01-100202-0102/10-100302-0102
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度 ~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	経済的な理由により就学困難と認められる児童生徒及び特別支援学級在籍児童生徒の保護者に対し、学用品費等の必要な費用の援助を与えることで、義務教育の円滑な実施に資することを目的としている。	事業内容	保護者からの申請を学校経由で受け、交付基準により判定する。特別な事情がある場合は、民生児童委員や学校の調査内容を参考に教育委員会で決定する。援助方法は、要保護が随時、準要保護が年2回、特別支援教育が年1回、学校を通じて保護者に支給する。		
対象	経済的理由で就学困難と認められる児童生徒の保護者及び特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者				
目指す状態	保護者の経済的負担を軽減するとともに児童生徒の精神的負担の緩和を図る。		実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()	

3. 実施状況

対象指標	指標名称	説明(算式等)	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2見込
			実績	14	11	11	11	11	11	11
活動指標	指標名称	説明(算式等)	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2計画
			実績	95.7	93.6	95.4	95.1	95.0	93.7	96
成果指標	指標名称	説明(算式等)	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標
			実績	96.1	97.9	90.2	99.6	92.5	104.8	100
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
	○就学援助認可状況									
		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
	申請数(人)	338	317	309	299	311	310	301	350	
	認可実績(人)	327	311	296	280	297	295	286	328	
	○就学援助実施状況									
		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
当初見込(人)	308	306	308	286	329	296	309	313	当初予算より	
認可実績(人)	327	311	296	280	297	295	286	328		
成果(どのような状態になったか)	経済的困窮世帯の児童生徒を援助し、就学に係る経済的不安を取り除き、安心して義務教育課程を修了できるようになった。また、入学前における入学準備学用品費の支給により、援助が必要な時期に、援助を行うことができ、経済面でより安心して入学できるようになった。									

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	事業費の算出根拠(R2)		
事業費・・・①	26,481	25,584	26,970	25,954	25,645	23,944	主な歳出の内訳		
内訳	国庫支出金	584	687	772	937	1,090	1,221	小学校費	12,783
	県支出金					163	85	中学校費	9,020
	受益者負担							義務教育学校費	2,141
	その他特財								23,944
	一般財源	25,897	24,897	26,198	25,017	24,392	22,638		

5. 第5次総合計画における取り扱い

今後の方向性	理由等
<input checked="" type="checkbox"/> 現行	第5次総合計画に掲載されている事務事業
<input type="checkbox"/> 統合	複数の事務事業を統合し、第5次総合計画に掲載となった事務事業 統合後の事務事業:
<input type="checkbox"/> 分割	当該事務事業を目的などに応じて分割し、第5次総合計画に掲載されている事務事業 分割後の事務事業名:
<input type="checkbox"/> 終了	令和2年度をもって終了となった事務事業
<input type="checkbox"/> その他	

PLAN 計画

1. 基本事項

事務事業名	教育相談事業			事務事業コード	311-101-62
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	学校教育課
	政策名	1	夢を持ち、元気で才能豊かな、いのち輝く新庄っ子を育成する	担当者	月野 聡
	施策名	1	生きる力と夢を育む学校教育の推進	内線	448
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	10款1項3目	不登校適応教室指導事業費、学校教育指導事業費	予算コード	01-100103-0300
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度 ~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	不登校傾向及び不登校である児童生徒の減少を図り、各小中学校への復帰につなげる。児童生徒の悩みや不安を解消し、学校生活や社会生活に適應できるように支援する。	事業内容	・教科指導(国語、数学、英語を中心に指導した。)、教育相談活動及び体験学習を通じた適応指導 ・不登校児童生徒を支援するための適応教室の開設と運営 ・教育、進路に対する様々な悩み等に対する相談、支援事業の実施 ・不登校児童生徒に対する家庭訪問や、別室登校の児童生徒への学習支援と悩み相談等の実施			
対象	小中学校の児童生徒及びその保護者・祖父母等		実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 一部委託
目指す	不登校傾向及び不登校である児童生徒に対して、適応教室における個別学習を進めることにより、対応児童生徒の減少を図るとともに各小中学校への復帰を目指す。教育相談や就学指導に係る推進体制の充実を図り、各種団体との連携を強化していくことで、児童生徒の悩みや不安を解消し、学校への復帰を目指す。			<input type="checkbox"/> 補助・負担	<input type="checkbox"/> 市民協働	<input type="checkbox"/> 指定管理
		<input type="checkbox"/> 事務局		<input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	小中学校の児童生徒数	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2見込
			実績	3,103	2,946	2,819	2,694	2,591	2,535	2,595
説明(算式等)	学校基本調査(5/1現在)	達成率								
活動指標	指標名称	教室の開設数(回)	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2計画
			実績	145	146	148	148	141	130	130
説明(算式等)		達成率	111.5%	112.3%	113.8%	113.8%	108.5%	100.0%		
成果指標	指標名称	不登校児童生徒数(人)	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標
			実績	32	28	34	30	37	30	19
説明(算式等)		達成率	59.4%	67.9%	55.9%	63.3%	51.4%	63.3%		

(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)

年度	中学校30日以上不登校	小学校30日以上不登校
H21	33	5
H22	23	3
H23	21	4
H24	21	2
H25	22	5
H26	23	6
H27	22	8
H28	24	10
H29	25	11
H30	22	8
R1	28	8
R2	27	3

成果(どのような状態になったか) 不登校傾向の児童に対して、学校が電話連絡や家庭訪問等、丁寧な対応を行っている。また、適応指導教室に継続して登校することで、学校復帰につながっている。教育相談員、スクールカウンセラーが学校と本人・保護者の中継役となりスムーズな対応が図られている。

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	事業費の算出根拠(R2)
事業費・・・①	5,616	5,925	6,055	6,182	5,740	6,532	事業費の算出根拠(R2)
内訳	国庫支出金						教育相談員報酬
	県支出金						教科指導員・シャイニングクラス講師謝金
	受益者負担						市スクールカウンセラー謝金・費用弁償
	その他特財						特別支援教育専門委員謝金・費用弁償
	一般財源	5,616	5,925	6,055	6,182	5,740	6,532

5. 第5次総合計画における取り扱い

今後の方向性	理由等
<input checked="" type="checkbox"/> 現行	第5次総合計画に掲載されている事務事業
<input type="checkbox"/> 統合	複数の事務事業を統合し、第5次総合計画に掲載となった事務事業 統合後の事務事業:
<input type="checkbox"/> 分割	当該事務事業を目的などに応じて分割し、第5次総合計画に掲載されている事務事業 分割後の事務事業名:
<input type="checkbox"/> 終了	令和2年度をもって終了となった事務事業
<input type="checkbox"/> その他	

評価

1. 基本事項

事務事業名	児童生徒の個別支援事業			事務事業コード	311-102-62
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	学校教育課
	政策名	1	夢を持ち、元気で才能豊かな、いのち輝く新庄っ子を育成する	担当者	東海林美紀
	施策名	1	生きる力と夢を育む学校教育の推進	内線	442
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	10款1項3目	児童生徒個別支援事業費	予算コード	01-100103-0800
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 17 年度 ~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	発達障害等により、学習に遅れがちな児童生徒を支援するため個別学習指導員等を配置し、学級全体の学習活動の充実を図る。	事業内容	必要とする小学校、中学校及び義務教育学校に個別学習指導員等を配置。学校教育活動に参画し、一人一人の学習支援を行うとともに教員との協力による指導を行う。		
対象	小中学校・義務教育学校において個別の教育的支援を必要とする児童生徒				
目指す状態	発達障害等により、学習に遅れがちな児童生徒を支援し、学級全体の学習活動を充実したものにする。	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	市内小中学校・義務教育学校数	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2見込	
			実績	12	11	11	11	11	11	11	11
活動指標	指標名称	個別学習指導員等の配置数(人)	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2計画	
			実績	20	20	23	23	23	24	-	
成果指標	指標名称	実態に応じた個別指導体制の該当児童生徒数(人)	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標	
			実績	41	77	91	88	81	79	-	
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)										
	個別学習指導員等の配置状況(令和2年度)										
	小学校		人数	中学校		人数	義務教育学校		人数		
	新庄小	5人	新庄中	1人	萩野学園	4人					
	沼田小	5人	明倫中	1人							
	日新小	6人	日新中	1人							
	北辰小	1人	八向中	0人							
	本合海小	0人									
升形小	0人										
成果(どのような状態になったか)	学校教育活動に参画し、必要な支援を行うとともに教員との協力的指導を行うことで、当該児童生徒を含む個々の学習と学級全体の活動が充実した。										

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	事業費の算出根拠(R2)	
事業費・・・①	26,532	27,030	31,440	30,932	31,846	36,756	主な歳出の内訳	
内訳	国庫支出金	3,884					報酬(24名)	33,925
	県支出金						手当(24名)	2,831
	受益者負担							
	その他特財							
一般財源	22,648	27,030	31,440	30,932	30,584	36,756		

5. 第5次総合計画における取り扱い

今後の方向性	理由等
<input checked="" type="checkbox"/> 現行	第5次総合計画に掲載されている事務事業
<input type="checkbox"/> 統合	複数の事務事業を統合し、第5次総合計画に掲載となった事務事業 統合後の事務事業:
<input type="checkbox"/> 分割	当該事務事業を目的などに応じて分割し、第5次総合計画に掲載されている事務事業 分割後の事務事業名:
<input type="checkbox"/> 終了	令和2年度をもって終了となった事務事業
<input type="checkbox"/> その他	

1. 基本事項

事務事業名	学校・家庭・地域の連携協働推進事業			事務事業コード	311-201-62
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	学校教育課
	政策名	1	夢を持ち、元気で才能豊かな、いのち輝く新庄っ子を育成する	担当者	東海林美紀
	施策名	1	生きる力と夢を育む学校教育の推進	内線	442
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等	学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金実施要領(国)				
予算・事務事業名	一般会計	10款1項3目	学校教育指導事業費	予算コード	01-100103-0100
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	小学校、中学校及び義務教育学校における学校図書館の整備及び機能の充実と、学校と地域の連携体制の構築を図るため、学校司書または協働活動支援員を配置し、読書好きな児童生徒を増やすとともに学力の向上を目指す。	事業内容	市内小中学校・義務教育学校11校に学校司書または協働活動支援員の各1名を配置し、学校図書館の整備と機能の充実を図ることにより、読書好きな児童生徒を増やすとともに、学校支援ボランティアの窓口となって学校と地域の連携を図る。		
対象	小学校、中学校及び義務教育学校の児童生徒及び地域住民				
目指す	小学校、中学校及び義務教育学校における学校図書館の整備及び機能の充実を図り、読書好きな児童生徒を増やすとともに学力を向上させる。また、地域住民の学校支援ボランティアの窓口となり、学校と地域の連携体制の充実を図る。	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	市内小中学校・義務教育学校数	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2見込
			実績	12	11	11	11	11	11	
活動指標 <td>指標名称</td> <td>学校司書または協働活動支援員の配置校数(校)</td> <td>年度</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R1</td> <td>R2</td> <td>R2計画</td>	指標名称	学校司書または協働活動支援員の配置校数(校)	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2計画
実績	12	11	11	11	11	11	11	11	-	
成果指標 <td>指標名称</td> <td>児童年間一人平均貸出冊数</td> <td>年度</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R1</td> <td>R2</td> <td>R2目標</td>	指標名称	児童年間一人平均貸出冊数	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標
実績	76	85	70	86	89	95	100	100	100	
達成率	76.0%	85.0%	70.0%	86.0%	89.0%	95.0%				

(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)

補足説明	児童生徒年間貸出総冊数				児童生徒年間一人平均貸出冊数			
		30年度	元年度	2年度		30年度	元年度	2年度
	小学校	141,204	124,908	131,322	小学校	85.8	88.8	94.7
	中学校	13,585	16,796	12,878	中学校	14.3	20.8	16.6
萩野学園	20,202	22,760	20,887	萩野学園	53.2	58.5	55.8	
								令和2年度目標値 小学校100冊 中学校20冊

成果(どのような状態になったか)

学校図書館に常時職員・支援員がいることにより、図書館の機能強化や読書好きな児童生徒を増やすことができ、学力の向上と学校教育全般を充実させることができた。また、学校司書を中心とした情報の共有化や連携の強化により、各校において安定した図書館運営を維持することができた。

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	事業費の算出根拠(R2)	
事業費・・・①	15,646	14,688	14,540	15,008	14,949	15,167	主な歳出の内訳	
内訳	国庫支出金						謝金・報酬・手当	14,440
	県支出金	9,949	0	9,246	9,291	0	費用弁償(旅費)	580
	受益者負担						需用費(消耗品)	102
	その他特財						保険料(ボランティア保険)	45
一般財源	5,697	14,688	5,294	5,717	14,949	15,167		

5. 第5次総合計画における取り扱い

今後の方向性	理由等
<input checked="" type="checkbox"/> 現行	第5次総合計画に掲載されている事務事業
<input type="checkbox"/> 統合	複数の事務事業を統合し、第5次総合計画に掲載となった事務事業 統合後の事務事業:
<input type="checkbox"/> 分割	当該事務事業を目的などに応じて分割し、第5次総合計画に掲載されている事務事業 分割後の事務事業名:
<input type="checkbox"/> 終了	令和2年度をもって終了となった事務事業
<input type="checkbox"/> その他	

1. 基本事項

事務事業名	教育研究所運営事業			事務事業コード	311-202-62
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	学校教育課
	政策名	1	夢を持ち、元気で才能豊かな、いのち輝く新庄っ子を育成する	担当者	平賀 真人
	施策名	1	生きる力と夢を育む学校教育の推進	内線	444
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	10款1項3目	学校教育指導事業費	予算コード	01-100102-0200
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 昭和 40 年度 ~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	教育に関する調査研究、教員の研修により、教育計画の樹立と資質向上、教育実践の充実を図る。	事業内容	・教員を対象とする職務を中心とする研修会の開催 ・環境教育や情報教育など各種の指導研修会の開催 ・授業における指導資料等の作成		
対象	小学校、中学校及び義務教育学校の教職員				
目指す状態	講座及び研修会を計画的に開催し、教員の資質向上及び教育実践の充実と教育課題の解決を図る。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	市内小中学校・義務教育学校教職員数	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2見込
			実績	339	319	309	308	301	306	-
	説明(算式等)		達成率							
活動指標	指標名称	講座・委員会数	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2計画
			実績	9	9	9	10	10	10	9
	説明(算式等)		達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	111.0%	
成果指標	指標名称	講座・研修会数	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標
			実績	34	33	34	31	26	19	35
	説明(算式等)		達成率	97.1%	94.3%	97.1%	88.6%	74.2%	54.2%	
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
	講座・研修会参加人数(延べ人数)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2		
		470	430	420	430	380	318	235		
	※H27年度の参加延べ人数の減少は、3小学校が統合して1つの小学校となり、委員数が減少したことや講座・委員会の再編を行い、1減となっているため。 ※R1年度の参加延べ人数の減少は、講座・委員会の再編を行い、内容や回数の見直しを図ったため。 ※R2年度の講座・研修会数と延べ人数の減少は新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、開催中止にした講座・研修会があったため。									
成果(どのような状態になったか)	研修や講座の中で新学習指導要領や新型コロナウイルス感染症関連の課題に関する内容を話題にするなど、喫緊の教育課題も扱うことで自校の教育活動に生かせるようになった。									

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	事業費の算出根拠(R2)	
事業費・・・①	73	109	62	73	54	57	主な歳出の内訳	
内訳	国庫支出金						印刷製本費	44
	県支出金						謝金	5
	受益者負担						費用弁償	8
	その他特財							
一般財源	73	109	62	73	54	57		

5. 第5次総合計画における取り扱い

今後の方向性	理由等
<input checked="" type="checkbox"/> 現行	第5次総合計画に掲載されている事務事業
<input type="checkbox"/> 統合	複数の事務事業を統合し、第5次総合計画に掲載となった事務事業 統合後の事務事業:
<input type="checkbox"/> 分割	当該事務事業を目的などに応じて分割し、第5次総合計画に掲載されている事務事業 分割後の事務事業名:
<input type="checkbox"/> 終了	令和2年度をもって終了となった事務事業
<input type="checkbox"/> その他	

(PLAN) 計画

1. 基本事項

事務事業名	学力等検査事業			事務事業コード	311-203-62
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	学校教育課
	政策名	1	夢を持ち、元気で才能豊かな、いのち輝く新庄っ子を育成する	担当者	月野 聡
	施策名	1	生きる力と夢を育む学校教育の推進	内線	448
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業 <input type="radio"/> 評価区分			<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業	
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	10款2項2目/10款3項2目	小学校教育振興事業費/中学校教育振興事業費	予算コード	01-100202-0102/01-100302-0102
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 17 年度 ~ (期限の定めのない事業)				

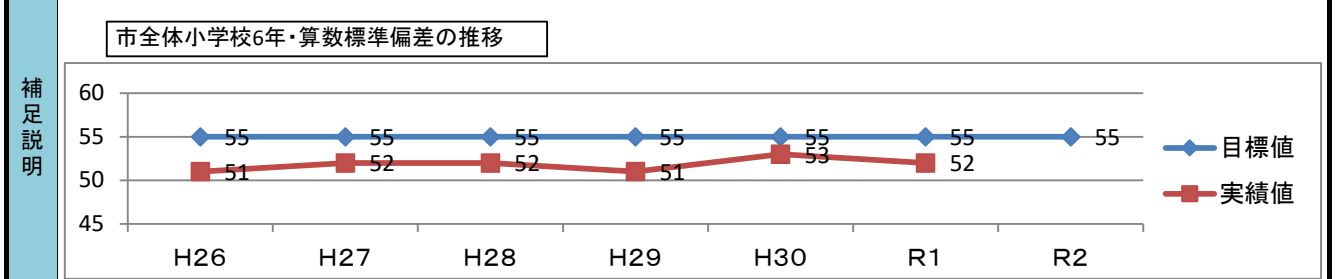
2. 事務事業の概要

目的	児童生徒の学力の到達度を評価し、結果を指導法の改善に役立て、学力の伸長を図る。	事業内容	学力検査と知能検査のテキスト代及び検査手数料を支援する。 ○学力検査 ・小学校2・3年生 2教科(国語・算数) ・小学校4・5・6年生 4教科(国語・社会・算数・理科) ・中学校1年生 4教科(国語・数学・社会・理科) ・中学校2・3年生 5教科(国語・数学・社会・理科・英語) ○知能検査 ・小学校2・4・6年生、中学校2年生		
対象	小学校2・3・4・5・6年生、中学校1・2・3年生				
目指す状態	児童生徒の学力の到達度を客観的な尺度で評価し、その結果を指導法の改善に役立てることで、児童生徒の学力を伸ばす。	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	市内小中学校・義務教育学校児童生徒数	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2見込
			実績	3,103	2,946	2,819	2,694	2,591	2,535	2,595
活動指標	指標名称	学力検査実施教科数(教科)	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2計画
			実績	6	6	6	6	6	6	6
成果指標	指標名称	標準学力検査(小学校6年・算数)の偏差値平均(偏差値)	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標
			実績	52	52	51	53	52	55	
説明(算式等)			達成率	94.5%	94.5%	92.7%	96.4%	94.5%		55

(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)



成果(どのような状態になったか) 新型コロナウイルス感染症対策による教育課程の大幅な変更により、全校による標準学力検査(NRT)は実施しなかった。

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	事業費の算出根拠(R2)	
事業費・・・①	4,218	4,052	3,818	2,312	2,169	3,020	主な歳出の内訳	
内訳	国庫支出金						消耗品	1,793
	県支出金						手数料	1,227
	受益者負担							
	その他特財							
一般財源	4,218	4,052	3,818	2,312	2,169	3,020		

5. 第5次総合計画における取り扱い

今後の方向性	理由等
<input checked="" type="checkbox"/> 現行	第5次総合計画に掲載されている事務事業
<input type="checkbox"/> 統合	複数の事務事業を統合し、第5次総合計画に掲載となった事務事業 統合後の事務事業:
<input type="checkbox"/> 分割	当該事務事業を目的などに応じて分割し、第5次総合計画に掲載されている事務事業 分割後の事務事業名:
<input type="checkbox"/> 終了	令和2年度をもって終了となった事務事業
<input type="checkbox"/> その他	

(DO) 実行

評価

(PLAN) 計画

1. 基本事項

事務事業名	国際理解教育・外国語教育推進事業			事務事業コード	311-204-62
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	学校教育課
	政策名	1	夢を持ち、元気で才能豊かな、いのち輝く新庄っ子を育成する	担当者	月野 聡
	施策名	1	生きる力と夢を育む学校教育の推進	内線	448
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業 <input type="radio"/> 評価区分			<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業	
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	10款1項3目	国際理解教育推進事業費	予算コード	01-100103-1000
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 19 年度 ~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	児童生徒の国際理解教育及び外国語教育の充実のため。	事業内容	・新庄市ALT4名による小中学校での外国語活動及び英語学習の展開 ・市内在住外国人との交流を通じた国際理解教育の推進 ・義務教育9年間を見通した系統的な国際理解教育に係るカリキュラムの開発		
対象	小中学校の児童生徒				
目指す状態	「山形大学エリアキャンパスもがみ」や地域のNPO団体等による活動と連携した国際理解教育を推進するとともにALTを活用した指導を積極的に展開し、小中学校における国際交流体験やコミュニケーション能力の育成を目指す。	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	小中学校児童生徒数	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2見込
			実績	3,103	2,946	2,819	2,694	2,591	2,535	2,595
説明(算式等)	5月1日現在	達成率								
活動指標	指標名称	地域の外国語指導講師やALTの外国語等活動授業時数(h)	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2計画
			実績	1,398	1,818	2,525	2,808	2,746	1,939	-
説明(算式等)	学校派遣日数×3.45時間	達成率								
成果指標	指標名称	標準学力検査(中学校2年・英語)の偏差値平均(偏差値)	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標
			実績	48	49	49	46	47	49	51
説明(算式等)		達成率	94.1%	96.1%	96.1%	90.1%	92.2%	96.0%		
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
	語学指導員任用数(単位:人)									
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2		
		2	2	3	4	4	4	4		
	※令和2年途中で1名が中途退職。									
※令和2年については、一斉臨時休業および分散登校があったため、授業時数は6月以降から算定。										
成果(どのような状態になったか)	ALTの年間を通じた配置により、有効活用した授業づくりが進められている。小学校で外国語の教科科に伴い、ALTの外国語等活動授業時数も増加し、児童生徒の外国語や外国の文化に対する興味関心を持つきっかけとなっている。									

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	事業費の算出根拠(R2)	
事業費・・・①	8,406	11,958	16,684	17,911	17,963	13,628	主な歳出の内訳	
内訳	国庫支出金						ALT給料	11,237
	県支出金						社会保険料	1,736
	受益者負担						旅費	213
	その他特財						負担金	442
	一般財源	8,406	11,958	16,684	17,911	17,963	13,628	

5. 第5次総合計画における取り扱い

今後の方向性	理由等
<input checked="" type="checkbox"/> 現行	第5次総合計画に掲載されている事務事業
<input type="checkbox"/> 統合	複数の事務事業を統合し、第5次総合計画に掲載となった事務事業 統合後の事務事業:
<input type="checkbox"/> 分割	当該事務事業を目的などに応じて分割し、第5次総合計画に掲載されている事務事業 分割後の事務事業名:
<input type="checkbox"/> 終了	令和2年度をもって終了となった事務事業
<input type="checkbox"/> その他	

(DO) 実行

評価

(PLAN) 計画

1. 基本事項

事務事業名	学校経営指導事業			事務事業コード	311-205-62
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	学校教育課
	政策名	1	夢を持ち、元気で才能豊かな、いのち輝く新庄っ子を育成する	担当者	平賀 真人
	施策名	1	生きる力と夢を育む学校教育の推進	内線	444
事業区分	<input type="radio"/> 独自事業 <input checked="" type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input type="radio"/> 評価事業 <input checked="" type="radio"/> 説明事業
法令根拠	地方教育行政の組織及び運営に関する法律 第23条				
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	10款1項2目	職員給与費	予算コード	01-100102-0200
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度 ~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	適切な学校経営がなされるように、研修や訪問等を通して、指導を行う。	事業内容	各小学校、中学校及び義務教育学校における組織編成、教育課程、学習指導、生徒指導及び職業指導などについて、諸会合や学校訪問を通して経営上の課題を把握しながら、求めに応じた指導を行う。		
対象	市内小学校、中学校及び義務教育学校				
目指す状態	教育基本法の趣旨に則り、教育の機会均等、教育水準の維持向上、地域の実情に応じた教育の振興を図り、適切な学校経営を目指す。	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	市内小中学校数	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2見込
			実績	12	11	11	11	11	11	11
活動指標	指標名称	学校訪問指導日数(日)	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2計画
			実績	16	16	16	15	25	25	22
成果指標	指標名称	—	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標
			実績	-	-	-	-	-	-	-
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
	授業、児童生徒理解の指導の他、教育長が定期的な訪問を実施している。									
成果(どのような状態になったか)	確かな学力の育成に向けて、校内研究を学校運営の中核に据えながら、探究型学習を行っている学校が増えている。また、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、工夫した教育活動を行っている。									

(DO) 実行

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	事業費の算出根拠(R2)
事業費・・・①	0	0	0	0	0	0	主な歳出の内訳
内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	受益者負担						
	その他特財						
	一般財源	0	0	0	0	0	0

5. 第5次総合計画における取り扱い

今後の方向性	理由等
<input checked="" type="checkbox"/> 現行	第5次総合計画に掲載されている事務事業
<input type="checkbox"/> 統合	複数の事務事業を統合し、第5次総合計画に掲載となった事務事業 統合後の事務事業:
<input type="checkbox"/> 分割	当該事務事業を目的などに応じて分割し、第5次総合計画に掲載されている事務事業 分割後の事務事業名:
<input type="checkbox"/> 終了	令和2年度をもって終了となった事務事業
<input type="checkbox"/> その他	

評価

1. 基本事項

事務事業名	学校教育体育・文化振興事業			事務事業コード	311-301-62
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	学校教育課
	政策名	1	夢を持ち、元気で才能豊かな、いのち輝く新庄っ子を育成する	担当者	鈴木 立
	施策名	1	生きる力と夢を育む学校教育の推進	内線	448
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業 <input type="radio"/> 評価区分 <input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業				
法令根拠					
条例・要綱等	新庄市小中学校各種大会奨励費交付要綱				
予算・事務事業名	一般会計	10款2項2目/10款3項2目	小学校教育振興事業費/中学校教育振興事業費	予算コード	01-100202-0102/01-100302-0102
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度 ~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	児童生徒が個人又は団体として、県大会を勝ち進んで東北大会以上の大会に出場する場合には出場奨励費を支給し、学校教育におけるスポーツ活動及び芸術文化活動の振興を図るため。	事業内容	スポーツ活動では、小学生は学校教育活動の一環として出場する大会、中学生は中学校体育連盟が主催する大会を対象とし、芸術文科活動では、小学生及び中学生ともに学校教育活動の一環として出場する大会が対象となる。それぞれ各学校からの申請をもとに支給する。		
対象	大会に出場する小学校、中学校及び義務教育学校の児童生徒。個人・団体。				
目指す状態	東北大会以上の大会と、高い水準に目標を設定することで、小学校、中学校及び義務教育学校から始まり、将来の活躍を見据えた、地域のスポーツ・芸術文化活動の一層の振興を目指している。	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	市内小中学校・義務教育学校児童生徒数	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2見込	
	実績			3,103	2,946	2,819	2,694	2,591	2,535	2,595	
活動指標	指標名称	申請額に対する支給割合(%)	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2計画	
	実績			100.0	90.2	99.9	95.0	99.2	99.9	100	
成果指標	指標名称	大会出場数の伸び率(対前年比)	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標	
	実績			108.1	55.0	204.5	182.2	46.8	35.1	110	
補足説明	説明(算式等)	5月1日現在	達成率								
	説明(算式等)	奨励費支給額/申請額	達成率	100.0%	90.2%	99.9%	95.0%	99.2%	99.9%		
補足説明	説明(算式等)	現年度出場数/前年出場数	達成率	98.3%	50.0%	185.9%	165.6%	42.5%	31.9%		
	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)										
補足説明	○ 大会出場奨励費の支給状況 (単位:校、円)										
		H28		H29		H30		R1		R2	
		出場数	金額	出場数	金額	出場数	金額	出場数	金額	出場数	金額
	小学校	6	563,026	13	437,951	25	1,007,023	18	696,289	5	50,116
	中学校	10	782,988	19	1,700,290	41	2,304,849	14	1,596,494	5	127,720
	義務教育学校	6	243,360	13	586,217	13	482,051	5	262,308	3	82,190
合計	22	1,589,374	45	2,724,458	79	3,793,923	37	2,555,091	13	260,026	
成果(どのような状態になったか)	児童生徒の努力の結果を奨励し、関係者から喜ばれている。また、保護者が負担する費用の軽減に役立った。										

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	事業費の算出根拠(R2)		
事業費・・・①	2,345	1,589	2,724	3,794	2,556	261	主な歳出の内訳		
内訳	国庫支出金						東北大会 個人8,000円*5人	他経費10,116円	51
	県支出金						全国大会 個人15,000円*8人	他経費89,910円	210
	受益者負担								
	その他特財								
一般財源	2,345	1,589	2,724	3,794	2,556	261			

5. 第5次総合計画における取り扱い

今後の方向性	理由等
<input checked="" type="checkbox"/> 現行	第5次総合計画に掲載されている事務事業
<input type="checkbox"/> 統合	複数の事務事業を統合し、第5次総合計画に掲載となった事務事業 統合後の事務事業:
<input type="checkbox"/> 分割	当該事務事業を目的などに応じて分割し、第5次総合計画に掲載されている事務事業 分割後の事務事業名:
<input type="checkbox"/> 終了	令和2年度をもって終了となった事務事業
<input type="checkbox"/> その他	

(PLAN) 計画

(DO) 実行

評価

PLAN 計画

1. 基本事項

事務事業名	学校保健対策事業			事務事業コード	311-302-62
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	学校教育課
	政策名	1	夢を持ち、元気で才能豊かな、いのち輝く新庄っ子を育成する	担当者	鈴木立
	施策名	1	生きる力と夢を育む学校教育の推進	内線	448
事業区分	<input type="radio"/> 独自事業 <input checked="" type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input type="radio"/> 評価事業 <input checked="" type="radio"/> 説明事業
法令根拠	学校保健安全法 第2条				
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	10款2項3目/10款3項3目	小学校保健対策事業費/中学校保健対策事業費	予算コード	01-100203-0100/01-100303-0100
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度 ~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	各種検診又は検査を実施し、児童生徒の健康の保持増進と学校保健の積極的な推進を図るため。	事業内容	学校医、学校歯科医及び学校薬剤師を各校に配置し、児童生徒の健康診断や健康相談、環境衛生検査などの保健管理活動を実施する。児童生徒の心電図検査と教職員の健康診断は、公益財団法人やまがた健康推進機構(最上検診センター)に業務委託。		
対象	小中学校の児童生徒及び教職員				
目指す状態	学校における保健管理及び安全管理を実施し、児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図るとともに、学校教育の円滑な実施に努める。				
実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()				

3. 実施状況

対象指標	指標名称	市内小中学校・義務教育学校児童生徒数	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2見込		
	実績			3,103	2,946	2,819	2,694	2,597	2,535	2,595		
活動指標	指標名称	学校医・学校歯科医配置人数(人) (内科、眼科、耳鼻科、歯科)	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2計画		
実績				49	47	47	47	47	47	45		
成果指標	指標名称	児童生徒の定期健康診断受診(内科)割合	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標		
実績				99.7	99.5	99.5	99.3	99.2	99.6	100		
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)											
	○ 児童生徒の定期健康診断(内科)の受診状況(人)											
			H28		H29		H30		R1		R2	
			対象者数	受診者数	対象者数	受診者数	対象者数	受診者数	対象者数	受診者数	対象者数	受診者数
	小学校		1,845	1,844	1,765	1,761	1,717	1,717	1,648	1,645	1,625	1,625
	中学校		1,101	1,097	1,053	1,044	977	960	949	932	910	900
合計		2,955	2,941	2,818	2,805	2,694	2,677	2,597	2,577	2,535	2,525	
※義務教育学校は小中校に振り分け												
成果(どのような状態になったか)	定期健康診断当日に欠席した児童生徒の再検査を実施するなど対応し、99%を超える受診率を達成した。											

DO 実行

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	事業費の算出根拠(R2)	
事業費・・・①	18,436	17,423	17,455	17,207	16,983	16,801	主な歳出の内訳	
内訳	国庫支出金						非常勤嘱託(学校医)報酬	11,060
	県支出金						児童生徒・教職員健康診断業務委託料	2,276
	受益者負担	1,300	1,226	1,177	1,123	1,085	スポーツ振興センター負担金	2,362
	その他特財						需用費等	1,103
一般財源	17,136	16,197	16,278	16,084	15,898	15,749		

5. 第5次総合計画における取り扱い

今後の方向性	理由等
<input checked="" type="checkbox"/> 現行	第5次総合計画に掲載されている事務事業
<input type="checkbox"/> 統合	複数の事務事業を統合し、第5次総合計画に掲載となった事務事業 統合後の事務事業:
<input type="checkbox"/> 分割	当該事務事業を目的などに応じて分割し、第5次総合計画に掲載されている事務事業 分割後の事務事業名:
<input type="checkbox"/> 終了	令和2年度をもって終了となった事務事業
<input type="checkbox"/> その他	

評価

1. 基本事項

Table with 4 columns: 事務事業名, 基本目標, 政策名, 施策名, 事業区分, 法令根拠, 条約・要綱等, 予算・事務事業名, 事業期間. Includes details for '小中学校給食管理運営事業'.

2. 事務事業の概要

Table with 3 columns: 目的, 対象, 目指す. Includes details about the purpose, target audience (elementary and middle school students), and goals of the school lunch program.

3. 実施状況

Table with 10 columns: 対象指標, 指標名称, 年度, H27, H28, H29, H30, R1, R2, R2見込. Shows performance metrics for school lunch programs.

Table for '補足説明' (Supplementary Information) showing a detailed breakdown of agricultural products used in school lunches by year and category.

成果(どのような状態になったか) 児童生徒に摂取基準に基づく適正なカロリーと栄養価を満たした給食を提供できた。給食を学校教育の一環として位置づけ、食育と地産地消推進に貢献した。

4. 投入資源

(単位:千円)

Table with 7 columns: 年度, H27, H28, H29, H30, R1, R2. Shows financial resources and cost breakdown for the school lunch program.

5. 第5次総合計画における取り扱い

Table with 2 columns: 今後の方向性, 理由等. Describes the future direction and reasons for the school lunch program's status in the 5th Comprehensive Plan.

(PLAN) 計画

(DO) 実行

評価

1. 基本事項

事務事業名	部活動指導員配置促進事業			事務事業コード	313-206-62
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	学校教育課
	政策名	1	夢を持ち、元気で才能豊かな、いのち輝く新庄っ子を育成する	担当者	鈴木 立
	施策名	3	安全安心な教育環境の整備	内線	448
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業 <input type="radio"/> 評価区分			<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業	
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	10款1項3目	学校教育指導事業費	予算コード	01-100103-0001
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 30 年度 ~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	教職員多忙化の要因の一つとなっている部活動指導をする教職員への教育的支援及び部活動の質的向上を図るため。	事業内容	必要とする中学校及び義務教育学校に部活動指導員を配置し、部活動において、専門的な技術的指導や校外活動の引率などを行う。また、教員との協力による部活動指導体制を構築し、部活動担当教員の負担軽減を行う。		
対象	新庄市立中学校及び義務教育学校の教職員及び生徒				
目指す状態	中学校及び義務教育学校において、部活動指導員を積極的に活用し、中学校及び義務教育学校における教職員の部活動指導に対する負担軽減及び専門的な指導による部活動の資質向上など部活動指導体制の充実を目指す。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	市内中学校・義務教育学校数	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2見込																																																							
	実績			-	-	-	5	5	5	5																																																							
活動指標	指標名称	市内中学校数あたり部活動指導員配置数	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2計画																																																							
	実績			-	-	-	3	3	4	5																																																							
成果指標	指標名称	配当時間数に対する配置校における活用時間数の割合	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標																																																							
	実績			-	-	-	95.2	94.5	75.8	100																																																							
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)																																																																
	・部活動指導員配置状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学校名</th> <th colspan="2">H30</th> <th colspan="2">R1</th> <th colspan="2">R2</th> </tr> <tr> <th>人数(人)</th> <th>年間活用時間(h)</th> <th>人数(人)</th> <th>年間活用時間(h)</th> <th>人数(人)</th> <th>年間活用時間(h)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新庄中</td> <td>1</td> <td>144</td> <td>2</td> <td>420</td> <td>2</td> <td>380</td> </tr> <tr> <td>明倫中</td> <td>1</td> <td>210</td> <td>1</td> <td>209</td> <td>1</td> <td>175</td> </tr> <tr> <td>日新中</td> <td>1</td> <td>209</td> <td>2</td> <td>363</td> <td>1</td> <td>210</td> </tr> <tr> <td>八向中</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>萩野学園</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3</td> <td>563</td> <td>5</td> <td>992</td> <td>5</td> <td>796</td> </tr> </tbody> </table>											学校名	H30		R1		R2		人数(人)	年間活用時間(h)	人数(人)	年間活用時間(h)	人数(人)	年間活用時間(h)	新庄中	1	144	2	420	2	380	明倫中	1	210	1	209	1	175	日新中	1	209	2	363	1	210	八向中	0	0	0	0	0	0	萩野学園	0	0	0	0	1	31	計	3	563	5	992	5
学校名	H30		R1		R2																																																												
	人数(人)	年間活用時間(h)	人数(人)	年間活用時間(h)	人数(人)	年間活用時間(h)																																																											
新庄中	1	144	2	420	2	380																																																											
明倫中	1	210	1	209	1	175																																																											
日新中	1	209	2	363	1	210																																																											
八向中	0	0	0	0	0	0																																																											
萩野学園	0	0	0	0	1	31																																																											
計	3	563	5	992	5	796																																																											
成果(どのような状態になったか)	部活動指導員が部活の顧問になれるため、部活動を担当している教員が保護者面談や進路指導などに充てる時間を作ることが出来た。来年は県補助金の補助対象等を鑑みながら、必要とする学校へより効果的な支援ができるように事業実施する。																																																																

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	事業費の算出根拠(R2)	
事業費・・・①				911	1,612	1,295	主な歳出の内訳	
内訳	国庫支出金						部活動指導員報酬	1,276
	県支出金				600	1,058	費用弁償(通勤手当、大会随行等)	19
	受益者負担							
	その他特財							
一般財源				311	554	439		

5. 第5次総合計画における取り扱い

今後の方向性	理由等
<input checked="" type="checkbox"/> 現行	第5次総合計画に掲載されている事務事業
<input type="checkbox"/> 統合	複数の事務事業を統合し、第5次総合計画に掲載となった事務事業 統合後の事務事業:
<input type="checkbox"/> 分割	当該事務事業を目的などに応じて分割し、第5次総合計画に掲載されている事務事業 分割後の事務事業名:
<input type="checkbox"/> 終了	令和2年度をもって終了となった事務事業
<input type="checkbox"/> その他	

1. 基本事項

事務事業名	小中一貫教育推進事業			事務事業コード	312-101-62
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	学校教育課
	政策名	1	夢を持ち、元気で才能豊かな、いのち輝く新庄っ子を育成する	担当者	平賀 真人
	施策名	2	地域に根ざした学校教育の充実	内線	444
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業 <input type="radio"/> 評価区分			<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業	
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	10款1項5目	小中一貫教育推進費	予算コード	01-100105-0100
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 21 年度 ~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	学校教育の様々な課題を解決するため、学力向上、生徒指導の充実、「ふるさと学習」の充実、小中教職員の協働の視点から小中連携をさらに進化させた小中一貫教育を導入する。	事業内容	小中一貫教育の推進を通して、小1プロブレム、中1ギャップの解消を図り、いじめ、不登校、学力向上に対する有効な教育環境を整備する。		
対象	市内小中学校の児童・生徒及びその保護者等				
目指す状態	小中一貫教育の実践研究を通して、また小中の連携や小小、小中交流を通して、小1プロブレム、中1ギャップといわれる問題の減少及び学力の向上や地域の人々の学校教育への積極的な参加がみられる。	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	市内5中学校区	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2見込
			実績	5	5	5	5	5	5	5
活動指標	指標名称	小小交流、小中交流、教師の乗り入れ授業等の回数	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2計画
実績	44	59	65	76	88	78	-			
成果指標	指標名称	友人関係、教師との関係が原因の不登校件数	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標
実績	3	5	9	9	14	8	0			
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
成果(どのような状態になったか)	新型コロナウイルス感染症の影響で直接的な交流は減ったが、掲示物等をつくり、渡すなどして、各校で工夫しながら実践した。									

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	事業費の算出根拠(R2)	
事業費・・・①	2,200	2,142	550	423	703	1,771	主な歳出の内訳	
内訳	国庫支出金						明倫学区義務教育校推進計画策定委員会委員等謝金	630
	県支出金						明倫学園 校章・校歌制作謝金	991
	受益者負担						消耗品	125
	その他特財						使用料	11
	一般財源	2,200	2,142	550	423	703	1,771	通信運搬費

5. 第5次総合計画における取り扱い

今後の方向性	理由等
<input checked="" type="checkbox"/> 現行	第5次総合計画に掲載されている事務事業
<input type="checkbox"/> 統合	複数の事務事業を統合し、第5次総合計画に掲載となった事務事業 統合後の事務事業:
<input type="checkbox"/> 分割	当該事務事業を目的などに応じて分割し、第5次総合計画に掲載されている事務事業 分割後の事務事業名:
<input type="checkbox"/> 終了	令和2年度をもって終了となった事務事業
<input type="checkbox"/> その他	

1. 基本事項

事務事業名	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業				事務事業コード	313-203-62	
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち			担当課	学校教育課
	政策名	1	夢を持ち、元気で才能豊かな、いのち輝く新庄っ子を育成する			担当者	月野 聡
	施策名	3	安全安心な教育環境の整備			内線	448
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業		評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業			
法令根拠							
条例・要綱等	山形県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業実施要領						
予算・事務事業名	一般会計	10款1項3目	学校教育指導事業費			予算コード	01-100103-1300
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)						
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)						
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度 ~ (期限の定めのない事業)						

2. 事務事業の概要

目的	各学区及び地域が連携して子どもの安全を図るため、登下校の見守り活動や通学路の安全点検を行う。	事業内容	児童生徒の登下校の交通安全の巡回指導。声掛け事案やクマ出没など、突発的な事件及び事故に対する、安全確保の援助活動。		
対象	新庄市内小学校、中学校及び義務教育学校の児童生徒				
目指す状態	小学生及び中学生の登下校における事故0。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input checked="" type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	小中学校・義務教育学校児童生徒数	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2見込
	説明(算式等)		実績	3,103	2,946	2,819	2,694	2,591	2,535	2,595
	達成率									
活動指標	指標名称	安全指導員の見守り活動日数	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2計画
	説明(算式等)		実績	50	50	50	50	50	50	50
	達成率			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
成果指標	指標名称	交通事故発生件数	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標
	説明(算式等)	0は総数のうち、学校管理下の交通事故発生件数	実績	10(5)	5(2)	6(1)	7(1)	6(4)	4(2)	0
	達成率									
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明) 北学区・南学区に分れ、児童・生徒の通学状況を巡回して観察する他、声掛け事案の発生やクマの目撃などがあった場合、巡回に加え、安全状況について点検を行っている。また、各学校で組織している見守り隊への指導や連携した活動、警察等の関係機関とも連携を図りながら通学以外のさまざまな地域での活動にリーダーシップを発揮している。 北学区安全指導員 巡回回数 51回 南学区安全指導員 巡回回数 50回									
成果(どのような状態になったか)	交通事故防止だけでなく、声かけ事案等があった場合にも迅速に対応した。定期的な巡回や各校の見守り隊との情報交換を密にすることにより、安全な登下校が図られた。									

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	事業費の算出根拠(R2)	
事業費・・・①	546	546	542	540	538	545	主な歳出の内訳	
内訳	国庫支出金						学校安全体制整備事業指導員謝金	537
	県支出金	328	328	304	288	296	消耗品	6
	受益者負担						保険料	2
	その他特財							
一般財源	218	218	238	252	242	249		

5. 第5次総合計画における取り扱い

今後の方向性	理由等
<input checked="" type="checkbox"/> 現行	第5次総合計画に掲載されている事務事業
<input type="checkbox"/> 統合	複数の事務事業を統合し、第5次総合計画に掲載となった事務事業 統合後の事務事業:
<input type="checkbox"/> 分割	当該事務事業を目的などに応じて分割し、第5次総合計画に掲載されている事務事業 分割後の事務事業名:
<input type="checkbox"/> 終了	令和2年度をもって終了となった事務事業
<input type="checkbox"/> その他	